

労働者として、生活者として、ひととして、 外国人をどう受け入れるべきか？ ～リベラルアーツ・カレッジの知恵～

第78回
公開講座

2025年 3月6日(木)/7日(金)/10日(月)/11日(火)

●会場／本学1号館1階 1101教室 ●時間／13:30～15:30

第1回 3/6(木)

外国人材の現在と未来

新データからわかる生活と労働

講師 神林 龍<本学経済学部教授>

第2回 3/7(金)

ミャンマー(ビルマ)からの 人の越境移動

労働移民・難民・海外ディアスポラ

講師 人見 泰弘<本学社会学部教授>

第3回 3/10(月)

災害と在留外国人

災害時に彼らの命をどう守るのか

講師 小林・ハッサル 柔子<本学国際教養学部教授>

第4回 3/11(火)

在日ブラジル人の “デカセギ移民35年史”

移住経験の多様な意味づけ

講師 アンジェロ・イシ<本学社会学部教授>

コーディネーター／神林 龍<本学経済学部教授>



【受付期間】2025年2月7日(金)～26日(水) 定員/先着250名※定員に達し次第、申込受付を終了します。

【受講料】(全4回) 2,000円(一般) 500円(武蔵大学在学生父母、武蔵学園卒業生) 無料(高校生、在学生*)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

【支払方法】受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【申込方法】裏面をご覧ください。



MUSASHI
UNIVERSITY

武蔵大学

許可なく転載することを禁止します。

経済学部

人文学部

社会学部

国際教養学部



3/6(木)

外国人材の現在と未来:新データからわかる生活と労働

講師:神林 龍<本学 経済学部教授>

【講演者】かんばんやし りょう…武蔵大学経済学部教授。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了、経済学博士。専門は労働経済学。スタンフォード大学経済学部客員研究員、OECDコンサルタント、一橋大学経済研究所教授等を経て2023年より現職。2020年に学士院賞、2021年に日本経済学会石川賞を相次いで受賞。著書に『正規の世界・非正規の世界』、共著に『日本の外国人労働力』等。

【講演内容】日本における外国人居住者は近年急増しています。日本社会が外国人をどう受け入れるか、真剣に問われる時期にきています。しかし、これまで外国人居住者、なかでも被用者として働く外国人労働者の実態はよくわかっていませんでした。データが不足していたことから、いくつかの極端なケースが報道され世間の耳目を集める一方、全体像が見えにくかったからです。近年、私たちの研究グループや厚生労働省などにより新しいデータが構築されはじめ、ようやく外国人労働者の全体像がみえはじめました。本講演ではその最新の状況を説明し、日本における外国人労働者の受入について議論します。

3/7(金)

ミャンマー(ビルマ)からの人の越境移動～労働移民・難民・海外ディアスポラ

講師:人見 泰弘<本学 社会学部教授>

【講演者】ひとみ やすひろ…北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。名古屋学院大学専任講師・准教授を経て、2019年武蔵大学に准教授として着任。2024年より現職。専門は国際社会学、移民難民研究。編著に『難民問題と人権理念の危機:国民国家体制の矛盾』(明石書店)、共著に『移住労働とディアスポラ政策:国境を越える人の移動をめぐる送出国のパースペクティブ』(明石純一編、筑波大学出版会)など。

【講演内容】「アジア最後のフロンティア」とも呼ばれたミャンマー(ビルマ)。日本にもミャンマーからの技能実習生や留学生が増えました。ミャンマーにとって、自国からの人の越境移動はどのような意味を持つのでしょうか。そして、2021年の軍事クーデター後の影響は?移民を「送り出す」側の視点から、ミャンマーからの人の越境移動を考えます。

3/10(月)

災害と在留外国人:災害時に彼らの命をどう守るのか

講師:小林・ハッサル 柔子<本学 国際教養学部教授>

【講演者】こばやし・はつさる やすこ…ロンドン大学SOASで修士号を、オーストリア国立大学で博士号を取得。これまでにシンガポール国立大学、オーストラリア国立大学、大阪大学、立命館大学で勤務し、2024年に武蔵大学教授に着任。専門は、近現代におけるアジア太平洋地域を移動する移民をテーマとしたトランスナショナル史研究。

【講演内容】自然災害の多い日本で、災害発生時に在留外国人の命を守る責任は一体誰にあるのでしょうか。現在、世界の先進国は実質的に移民国家として機能しており、日本もまた、多くの外国の方々をさまざまな形で受け入れ、共に日本社会を築いています。日本社会の一員として生活する在留外国人の皆さんが、災害時にどのように自身の命を守ることができるのかを皆様と共に考えていきたいと思ひます。

3/11(火)

在日ブラジル人の“デカセギ移民35年史”:移住経験の多様な意味づけ

講師:アンジェロ・イシ<本学 社会学部教授>

【講演者】アンジェロ・イシ(Angelo Ishi)…武蔵大学社会学部教授。サンパウロ市生まれの日系ブラジル人三世、自称「在日ブラジル人一世」。専門は国際社会学とメディア社会学。日本移民学会会長(2024~25年度)。(公財)海外日系人協会の常務理事、総務省、外務省、文部科学省、法務省等の多文化共生施策の有識者会議の委員も歴任。著書に『ブラジルを知るための56章』(明石書店)、共著に『日本人の海外移住』(同)、『移民研究と多文化共生』(御茶の水書房)など。

【講演内容】1990年の入管法改定で「日系人」に活動に制限のない在留資格が設けられたのを機に、ブラジルから多くの人々が非熟練労働者として来日し、「デカセギ」と名付けられる空前の大移動が起きました。その多くは日本に定住/永住し、2025年はこの移住史の35周年を記念する動きがあります。90年に日本に留学し、コミュニティと共に歩んできた講師が、研究者と当事者という複眼的視点から在日ブラジル人による移住経験の意味づけを分析します。

お申し込み・受講に関するご案内

FAX、メール、郵送によりお申し込み

PC専用申し込みサイトより
お申し込み▼
<https://web.634.co.jp>

下記の①～⑥を明記の上、申し込み先まで送信(郵送)してください。

- ①第78回公開講座「労働者として、生活者として、ひととして、外国人をどう受け入れるべきか？」
②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤FAX番号(ある方)
⑥申込区分(一般、本学在学学生父母、本学園卒業生、本学在学学生、高校生)

※本学在学学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します
※本学園卒業生とは、武蔵大学、大学院、武蔵高等学校・中学校の卒業生を指します

●注意事項

- (ア)いったん納入された受講料は原則お返しできません。
(イ)やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。
(ウ)緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。
(エ)本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等でのご来場はご遠慮ください。

※本学在学学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。
※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。
※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。
※お申込後、「受付票」は2月27日以降に発送いたしますので、当日お持ちください。

●個人情報の取り扱いについて
武蔵大学公開講座受講者の個人情報、本学の個人情報保護指針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。各種講座の案内送付は、当該業務の委託を受けた業者(以下「委託業者」という。)において行います。武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学が明示する用途のみに使用し、委託業者にはその委託業務を越えた利用はありません。また、委託業者に対しては、個人情報が、漏洩・流出することのないよう厳重な管理を義務づけします。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ (講座当日は会場対応のため閉室しております)

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1(武蔵大学内) TEL:03-5984-3785
FAX:03-5984-3787 E-mail:direct@634.co.jp URL <https://web.634.co.jp>

